

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
子どもにとって遊びとは、生活であり学びである。その意味と必要性、重要性を整理し、現代の子どもたちを取り巻く環境からも考察してみる。授業では、それぞれが進捗状況を定期的に発表しながら意見交換の時間を大切にしながら進めていく。そこから新たな研究の視点やヒントを得て自分の研究、問題解決に役立てていくようにする。			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	事前学習をふまえてディスカッションやグループワークを取り入れる。また、ゼミ内で各々の研究内容に関連した文献を紹介したり、研究の中間発表等を行ったりして、ゼミ生同士の学びを共有することにより、子どもの遊びを軸とした見識を深める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション (授業説明、注意事項)	<input type="checkbox"/>
第2回	研究課題の設定と面談	面談を行い興味のある分野に関連した新しい研究分野などの紹介も行う研究課題の設定を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	研究課題の設定	研究課題の設定を行う。	<input type="checkbox"/>
第4回	資料収集1 (図書資料による研究課題の リサーチ)	面談で話し合った研究課題に関する図書資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第5回	資料収集2 (記事資料による研究課題の リサーチ)	面談で話し合った研究課題に関する記事資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第6回	資料収集3 (論文による研究課題の リサーチ)	面談で話し合った研究課題に関する論文を収集する。	<input type="checkbox"/>
第7回	研究課題の発表	5週に渡って行ってきた、面談、資料収集から各自の研究課題を見つけその内容を発表する。	<input type="checkbox"/>
第8回	調査ファイルの作成	各自の研究課題テーマに沿って調査を行いファイルにまとめる。	<input type="checkbox"/>
第9回	作品試作とレポートの作成	各自の研究課題テーマに沿って研究を行いレポートの作成や作品の試作を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	面談とレポートの作成、作品製作	各自の研究課題テーマに沿って調査、研究を行い面談を交えながらレポートの作成や作品製作を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	中間発表	各自が研究課題テーマに沿って行った調査、研究の進捗状況を中間発表する。	<input type="checkbox"/>
第12回	中間発表に関する面談	前回の中間発表を終え今後の進め方を面談で確認する。	<input type="checkbox"/>
第13回	作品製作もしくはレポートの作成	各自の研究課題テーマに沿って調査、研究を行いレポートの作成や作品製作を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	作品製作もしくはレポートの作成と発表準備	各自の研究課題テーマに沿って調査、研究を行いレポートの作成や作品製作、発表の準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究発表(研究成果の発表)	これまでの研究の成果をレポートもしくは制作物で発表し、質疑応答に答える。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)	
これまでの調査・研究の成果をレポートもしくは制作物で示せるように準備しておく(2時間)。授業内の面談を通して気づいた新たな研究課題を再調査する(2時間)。	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

研究成果を報告するためのレポート課題を実施する。レポートの内容を確認後、より研究を深められるような自主学習の方法の提案や資料を提供する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	現代の保育ならびに教育の現場における諸課題に対し、興味関心をもって自らの研究課題を立てることができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	現代の保育ならびに教育の現場における諸課題に対し、根拠となる資料やデータを集めるとともに自らの考えをまとめ、他者に説明することができる。また、調査、実践研究をとおして他者と協働する中で、多様な考えに触れ、違いを理解することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習で研究した内容をプレゼン発表する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業中に指示する	
2		
3		
4		
5		